

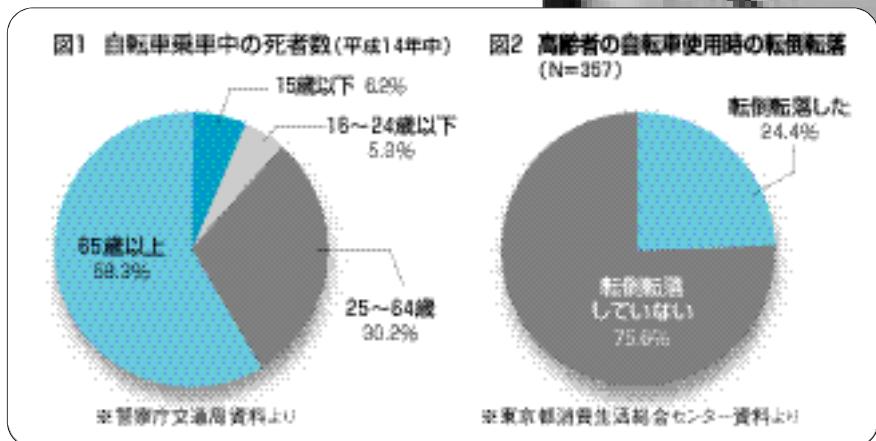
混合交通を観察する **DOCUMENT** EYE •series—158

6割は高齢者

昨年の自転車乗車中の交通事故死者数に占める高齢者の割合は、991人中578人。つまり6割が65歳以上の高齢者であった(図1)。

死亡事故原因では、「一時停止違反」「信号無視」「ハンドルブレーキ操作不適」「安全不確認」などがあげられるが、特に「一時停止違反」の構成率は、他の年齢層と比較して高い傾向がある。

また、高齢者の場合、自転車の前か



一時停止をしない高齢者。かごには大きな荷物が

観察場所 / 東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目周辺
観察日 / 3月14日(金曜日)
天候 / 晴れ
観察時間 / 17:10 ~ 18:20 ライト点灯状況観察 / 日没17:48 ~ 18:20
観察者 / 1名

信号のない交差点で一時停止をした自転車に乗る高齢者138人中7人

高齢者の自転車の乗り方を観察する



観察場所は東京西部のJR吉祥寺駅辺に広がる商業エリア内。人通りの多い走路地が交差する信号機のない小さな交差点（3カ所）で、高齢者とみえる自転車の交差点での一時停止・荷物の積載状況および口没の17時48分以降はライトの点灯状況についても観察した。

観察の結果、交差点で一時停止を行なつたのは138台中わずか7台だった。高齢者も含めて自転車を利用するほとんどの人は、左右確認を行なわずに交差点

WATCHING

高齢者に多く利用されている自転車
観察地点では高齢者に限らず、ほとんどの
自転車が一時停止を怠つて、いつに間に
えたしかし、若者では防げた事故でも、加
齢に伴つ身体能力や判断能力の低下のため
め、高齢者の場合は大事故につながる現
象がある。バランスを崩しやすい荷物の積

者も4人見かけた。うち1台は前がごとく入らない大きさの蛍光灯をぶら下げていた。

ライトの点灯状況だが、日没後に通過した高齢者とみえる自転車56台中、点灯していたのは14台と4分の1に過ぎなかつた。前後にライトを装備して走る男性の自転車が目立つていた。また、薄暮時に無灯火で背中を丸めてゆっくり走る高齢の男性がいた。

●高齢者の自転車の乗り方(人)		男性	女性	計
一時停止 (138人中)	一時停止した	3	4	7
	一時停止しない	60	71	131
	計	63	75	138
荷物の積載状況 (延べ人数)	荷物なし	18	5	23
	前かご	43	67	110
	ハンドル	1	3	4
	荷台	1	7	8
ライトの点灯状況 (日没17:48~18:20)	点灯あり	9	5	14
	点灯なし	15	27	42
	計	24	32	56

465歳以上と見られる高齢者の区分は観察者の見解

ご愛読者のみなさまへ

SJが4月から変わりました。より多くのオピニオンリーダーの方々に、より多くの交通安全活動の情報を伝えていきます。微力ながら豊かな交通社会作りに貢献するため、編集部一同、より読みやすく、より役立つ紙面づくりに努力してまいります。今後ともSJをご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。(SJ編集部)